

令和8年度第1回住吉区総合教育会議

令和8年7月10日（金）

【大藪区教育担当課長代理（司会）】      ただいまより、令和8年度第1回住吉区総合教育会議を開催させていただきます。私は本日の司会を務めさせていただきます教育文化課長代理の大藪でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、開催にあたり、住吉区担当教育次長の橘部長よりご挨拶を申し上げます。

【橘区担当教育次長】      皆様、こんにちは。住吉区の教育次長を担ってございます区長の橘です。委員の皆様方にはご多用の中、また、暑さ厳しい中、今年度初めての総合教育会議にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

本日は、このたび新たに委員にご就任いただきました荒巻委員、木村委員、中西委員、船津委員、松下委員、そして、引き続きご就任いただきました伊井委員、島谷委員、東山委員にご出席を賜ってございます。そして、オブザーバーとして、区内学校園長幹事の墨江小学校の伊藤校長先生、我孫子南中学校の田中校長先生、墨江幼稚園の野田園長先生にもご出席を賜ってございます。

委員並びにオブザーバーの皆様方には、専門的なご知見を賜り、住吉区の教育行政の推進につなげてまいりたいと考えてございますので、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。後ほど、改めてご紹介をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、本日は委員改選後の初の総合教育会議でございますので、後ほど委員の皆様方には議長の選任を行っていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、住吉区役所におきましては、大阪市が進めます分権型教育行政として、学校や地域の実情を教育に反映するべく、この会議のほか、区教育行政連絡会を開催いたしますとともに、住吉区の将来ビジョンにおきまして未来を担う将来世代の支援を柱の1つとして掲げ、教育や福祉、子どもに対する支援に対しましても重点課題として取り組んでいるところでございます。本日はこの将来ビジョンの具体的施策・事業となります今年度の主な教育・子育て関連事業について、担当の課長よりご説明をさせていただきますとともに、グループディスカッション形式によりまして、小・中学校に対します取り組み・支援について皆様方からご意見を頂戴したいと思っております。

次回以降の会議におきましても、私どものほうから委員の皆様にご意見を賜りたい課題を設定させていただき、その課題についてご協議をいただくことをしつらえてまいりたいと考えてございますので、どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

本日、皆様方には日常的に教育に関わってのお考えでありますとか教育・子育て施策を進めていく上でのアイデアをお出しいただければ、今後の施策・事業への反映を検討してまいりたいと考えてございますので、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。本日は最後までどうぞよろしくお願いいたします。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 それでは、会議を始めるにあたりまして、委員の皆様にご挨拶させていただきます。

大阪市では、デジタルツールを最大限活用した会議の推進の取り組みの1つとして、会議の様子を動画配信にて公開するウェブ傍聴の実現をめざしております。今回の総合教育会議では、ユーチューブライブにてライブ配信を行っており、会議終了後は録画配信を行います。個人のプライバシーに関することや誹謗中傷など、そのまま配信することが妥当ではないと判断した場合は、会議終了後、動画の編集を行い、発言を修正・削除して会議録を作成することがあります。お知りおきいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。傍聴の皆様には、受付でお渡しした遵守事項をお守りいただきますようお願いいたします。

それでは、令和8年度第1回の総合教育会議ということでございますので、まず、区役所の出席者からご紹介いたします。

住吉区教育担当部長の西畑副区長です。

【西畑区教育担当部長】 西畑です。本日はよろしくお願いいたします。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 稲岡福祉課長です。

【稲岡福祉課長】 稲岡でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 山尾保健こども家庭課長です。

【山尾保健こども家庭課長】 保健こども家庭課長、山尾でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 金谷地域課長です。

【金谷地域課長】 地域課長、金谷です。どうぞよろしくお願いいたします。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 筒澤生活支援課長代理です。

【筒澤生活支援課長代理】 筒澤です。よろしくお願いいたします。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 住吉区教育担当課長の山本教育文化課長です。

【山本区教育担当課長】 山本です。よろしくお願いいたします。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 引き続きまして、委員の皆様方をご紹介させていただきます。あいうえお順でご紹介させていただきます。

大阪市はぐくみネットコーディネーター住吉区連絡会の荒巻委員です。

【荒巻委員】 荒巻です。よろしくお願いします。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 大阪公立大学大学院文学部研究科教授の伊井委員です。

【伊井委員】 どうぞよろしくお願いいたします。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 住吉区主任児童委員連絡会の島谷委員です。

【島谷委員】 島谷です。よろしくお願いいたします。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 社会福祉法人四恩学園の中西委員です。

【中西委員】 中西でございます。よろしくお願いいたします。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 住吉区まなび・つながりネットワークの東山委員です。

【東山委員】 東山でございます。よろしくお願いいたします。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 住吉区PTA協議会の船津委員です。

【船津委員】 船津と申します。よろしくお願いいたします。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 住吉区学校協議会の松下委員です。

【松下委員】 松下と申します。よろしくお願いいたします。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 すみません。住吉区社会福祉協議会の木村委員です。

【木村委員】 木村です。どうぞよろしくお願いします。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 また、オブザーバーとしてこの1年間この会議にご参加いただきます区内の公立小・中学校、幼稚園の先生方をご紹介させていただきます。

墨江小学校の伊藤校長先生です。

【墨江小学校校長】 伊藤です。どうぞよろしくお願いいたします。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 我孫子南中学校の田中校長先生です。

【我孫子南中学校校長】 よろしくお願いいたします。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 墨江幼稚園の野田園長先生です。

【墨江幼稚園園長】 野田です。よろしくお願いいたします。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 また、本日、長吉委員、菅原委員、高柳委員がまだお見えになっておりませんが、所用によりご欠席との連絡をいただいております。なお、本日市会議員のくぼた様ご参加いただいております。

【くぼた議員】 市会議員のくぼたです。どうぞよろしくお願いいたします。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 以上で紹介を終わります。

続きまして、配付資料の説明をさせていただきます。

お手元の資料で、委員の皆様には事前にお送りさせていただいておりますけれども、次第のほか、分権型教育行政の仕組みの資料１－１、住吉区総合教育会議開催要綱の資料１－２、令和８年度主な教育・子育て関連事業（概要版）という資料２－１、令和８年度主な教育・子育て関連事業の資料２－２、令和８年度第１回住吉区総合教育会議グループディスカッションの資料３－１、令和７年度各区が実施する主な教育活動支援事業の一例の資料３－２、令和８年度第１回住吉区総合教育会議グループディスカッション参加者名簿の資料として３－３、令和８年度住吉区総合教育会議委員名簿及び座席表の計１０件でございます。

不足がございましたら事務局より配付いたしますので、お声がけください。

本日は令和８年度初回の総合教育会議となりますので、まず、議長の選任を行いたいと思います。規約では委員の互選により選任することとなっており、事務局といたしまして、大阪公立大学の伊井委員に議長をお願いできればと考えておりますが、いかがでしょうか。

（拍手）

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 ありがとうございます。皆様の拍手がございましたので、ここで伊井委員に進行を交代させていただきたいと思います。

伊井委員、どうぞ前の席へ移動をお願いいたします。

【伊井議長】 改めまして、大阪公立大学の伊井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、今ご指名がありましたので、私のほうで進行をさせていただきます。

まず、本日、今年度の第１回の会議ということで、基本的なことも含めて区役所のほうからご説明いただきながら進行していきたいと思います。

それでは、次第の３の総合教育会議について、まずはご説明をお願いいたしますでしょうか。

【山本区教育担当課長】 教育文化課長の山本でございます。私のほうから説明をさせていただきます。すみません、座らせていただきます。

今回は第1回会議でございますので、分権型教育行政の仕組み等につきましてご説明申しあげたいと思っております。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、少しおさらいの意味も含めましてお聞きいただければと思います。

資料の1－1と資料の1－2をご覧ください。

まず、資料1－2でございますが、住吉区総合教育会議の開催要綱でございます。

皆様が委員としてご参画いただいております総合教育会議は、大阪市独自の分権型教育行政の仕組みの下で行われております。この会議要綱の第1条でございますように、目的としましては、教育委員会事務局住吉区担当教育次長が所管する教育の振興に係る施策及び事業について、その立案段階から保護者及び地域住民その他の関係者等の意見を把握し、適宜これを反映させるとともに、その実績及び成果の評価に関しご意見を聞くために開催をしております。

続きまして、資料1－1のほうをご覧ください。分権型教育行政の仕組みについてでございます。

分権型教育行政とは、大阪市の教育行政の一環で、真ん中のほうに表示がございますが、区長を区担当教育次長と位置づけ、地域に身近な区が、教育委員会と共に保護者、区民等の声を汲み取りながら教育行政を進める仕組みでございます。区長が教育委員会事務局の区担当教育次長の役割を兼務し、保護者、地域住民、学校長等の意見を汲み取るための仕組みをつくり、学校や地域のより近くでニーズに合った教育施策を推進いたします。大阪市の基本方針でございます住民に近いところで行われる決定ほど望ましいというニア・イズ・ベターの方針に従いまして、区役所と教育委員会で分権して行政を行っていくというものでございます。

裏面のほうをご覧ください。区における仕組みの運営についてでございます。

保護者、地域住民、校長等の意見やニーズを汲み取るための場として、2つの会議がございます。1つ目が、保護者・区民等の参画のための会議ということで、これがこの総合教育会議にあたります。2つ目は、区教育行政連絡会議でございます。学期に1回程度、区役所で開催をしております。この2つの会議から意見やニーズを汲み取り、学校の状況に応じたサポート等を行ってまいります。

以上でございます。

【伊井議長】       ありがとうございました。

今ご説明があったように、この会議というのは、もちろんここで何かを決定するというようなことではなくて、ここで意見を自由にとにかく、ある程度表明して、そして、それを汲み取っていただくというようなプロセスになっております。なので、ここでこれからまた、今ご説明いただいた後にディスカッション等々もありますけれども、何か我々が実現可能性があるということを常に念頭に置きながらというわけではなくて、この段階で我々が知っている限りで様々な意見をお伝えしていくというような場であると私自身は解釈しております。なので、ぜひ闊達なご議論をここでしていただければと考えております。このような認識でよろしいでしょうか。

それでは、引き続きまして次第を進めていきたいと思えます。次第の4、令和8年度の住吉区における主な教育・子育て関連事業について、区役所よりご説明をお願いいたします。

【山本区教育担当課長】       続きまして、教育文化課長の山本でございます。恐れ入ります。また座らせていただきます。

資料の2-1と2-2をご覧ください。

資料2-2はホチキス留めで作成をいたしておりますが、こちらの事業を一覧にまとめましたものが資料2-1になります。こちらの資料2-1を基にいたしまして、主な教育・子育て関連事業についてご説明をさせていただきたいと思えます。

まず、1行目でございます。不登校生徒の校内における居場所づくり支援事業につきましては、中学校を対象に不登校傾向にある生徒の校内における居場所の環境整備を行うため、各学校の実情に応じてカーテンやパーテーション、机などの物品を購入し配付することにより、学校での不登校生徒への支援の取り組みをサポートするものでございます。

続きまして、2行目です。自主学習習慣づくり支援事業、「すみよし学習クラブ（ジュニア）」及び「すみよし学習クラブ」についてです。小学校5・6年生及び中学生を対象としまして、自主学習習慣の定着及び学習意欲の喚起を目的に、民間事業者と協定を結び、放課後の学校施設を利用して学習支援を行うものでございます。大阪市習い事・塾代助成事業を利用することにより、費用負担を軽減することができるというものでございます。

続きまして、3行目でございます。自主学習習慣づくり支援事業「漢字検定チャレンジ支援」についてでございます。小学3年生から6年生のうち、学校のほうが選択をしていただくんですけれども、2学年を対象に漢字検定を受検してもらおうというものでござい

ます。目標を設定して漢字の学習をするということで学習意欲を高めようというものでございます。

4行目、学校園教育活動支援事業「学校園補助スタッフの活動支援」につきましては、幼稚園、小学校、中学校を対象といたしまして、学校園での学習支援や特別支援児童・生徒・園児への支援など、教育活動に応じて活動する補助スタッフに対しまして活動実績に応じた報償金を支出し、活動支援を行うというものでございます。

【稲岡福祉課長】 福祉課長の稲岡でございます。私からは、6行目、子ども・若者育成支援事業、資料2-2の7ページ、こちらをご覧くださいませでしょうか。着座にてご説明させていただきます。

目的といたしましては、不登校やひきこもり等で悩んでいる若者や就労に自信が持てない若者が社会生活を円滑に営むことができるようにするため、子ども・若者育成支援地域協議会を開催し、福祉や保健、教育、就労支援、医療などの関係機関が連携し、効果的かつ円滑な支援ができる体制を構築するとともに、相談事業や居場所づくり事業、関係機関や地域のネットワークを活用し、対象者やその家族を支援していくとしております。

内容といたしましては、不登校やひきこもり等で悩む若者やその家族に対する相談や居場所事業等を実施しております。また、区民向けの啓発といたしましては、研修会やフォーラムを開催しております。

令和7年度の実績といたしましては、指標350件以上に対して実績が424件と。詳細内訳については記載のとおりでございますが、その後、実際就労支援に結びついた方でありますとか、フォーラムの開催、こちらについても非常に高い満足度を得ております。

8年度の指標といたしましては、相談件数400件以上ということで、講座やフォーラムを今年度も実施いたしますほか、他機関での支援が満了したものに対しましても相談支援につなげてまいります。近接領域であります子育て相談室、こどもサポートネット、生活支援課、生活困窮者自立支援事業との連携強化を進めるため、庁内での事業説明を実施するとしております。

以上でございます。

【山尾保健こども家庭課長】 保健こども家庭課長の山尾でございます。私からは、こどもサポートネット事業につきましてご説明いたします。すみません、着座でさせていただきます。

資料2-1の裏面の下から2つ目でございます。

この事業につきましては、区内小・中学校を対象といたしまして、スクールソーシャルワーカー及びこどもサポート推進員を区役所に4名ずつ配置し、教職員による児童・生徒への「気づき」を活かしまして、スクールソーシャルワーカーによる課題の状況評価を行うとともに、適切な福祉サービス等につながるよう、こどもサポート推進員が必要な支援を行っております。

以上です。

【伊井議長】        ありがとうございました。

それでは、本来ならば、以前ならばここで実は質疑応答等もあったんですけども、この質疑応答等も含めて、今回からグループディスカッションの中でいろいろ情報共有をしていくというような流れになっております。なので、ここで次第の5のほう、グループディスカッションのほうに移らせていただきます。

まずは、区役所より、グループディスカッションの背景等についてご説明をお願いいたします。

【山本区教育担当課長】        教育文化課長の山本でございます。座らせていただきます。

そうしましたら、資料のほうですが、資料3-1をまずご覧ください。

住吉区では教育・子育てに関する様々な取り組みにつきまして、保護者の皆様や地域の皆様のご意見を積極的に取り入れることでよりよい施策の実現をめざしており、今回、様々な分野で活動をされています総合教育会議の委員の皆様からアイデアやご意見を頂戴したいと考えております。

背景といたしましては、まず1つ目でございますが、小学校を対象に自主学習習慣支援づくり事業として実施をしております「漢字検定チャレンジ支援」につきまして、今年度から受検料の値上げによりまして予算を超過するという事態に至っております。現在行っている2学年受検を支援することが難しい状況にございまして、そのため、仮にこの漢字検定支援以外の支援を行うとした場合、どのような支援が必要か、求められているかというご意見を頂戴できないかというふうに思っているところでございます。

2つ目としまして、中学校を対象に「不登校生徒の校内における居場所づくり支援事業」が本年で2年目ということになります。2年にわたりまして物品配付を行うことによりまして環境整備も一定整うと考えられますことから、それに代わる新しい支援策についてご意見を頂戴できないかというふうに思っておるところでございます。

資料の3-2をご覧ください。横長のものでございます。

参考といたしまして、各区が実施しております主な支援事業を一覧にまとめております。

住吉区が現在実施している支援事業につきましては、1行目の「漢字検定チャレンジ支援」のところでございます。それから、3行目の民間事業等による課外学習支援、こちらのほうは、すみよし学習クラブがこれに当たるものでございます。それから、下から4行目、校内居場所における環境整備の支援でございます。この3項目が、現在この一覧にさせていただいた中では住吉区が行っております支援内容ということでございます。

委員の皆様から見まして、区役所がどのような支援を学校のほうに行っていけばよりよい教育環境に資すると思われるか、ブレインストーミングのように自由で柔軟に、そして具体的なご意見を頂戴できればというふうに思っているところでございます。

資料の3-3をご覧ください。

資料の3-3につきましては、恐縮ではございますが、こちらのほうで一旦グループ分けをさせていただきました。Aグループにつきましては小学校への支援策、Bグループにつきましては中学校への支援策をご議論いただきたく思っておるところでございます。

こちらのほうで勝手にちょっと割り振りをさせていただいたものでございまして、もし「私は隣のグループのほうがいろんなご意見言いやすいわ」というような方がいらっしゃれば、ちょっと挙手をお願いできればと思っております。

そうしましたら、ちょうどお二人が小学校と中学校と手が挙がりましたので、ちょっと交代をしていただけますでしょうか。

ありがとうございます。では、よろしくお願ひしたいと思ひます。

【伊井議長】 それでは、続いて、具体的なグループディスカッションの進め方についてご説明をお願いいたします。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 それでは、私のほうからグループディスカッションの進め方について説明させていただきます。

先ほど山本課長からもこのグループディスカッションについての経過等の説明に使いました資料の3-1、3-2をご用意ください。

改めましてテーマですが、資料の3-1のところの下のほうにございます。テーマは「区の教育支援の取組みについて」です。

その狙いは、その1つ上を書いておりますが、小・中学校に区役所が行う支援について、よりよい施策の実現につながるアイデアをもう柔軟に出していただいて、これ、できるかどうかできないかとかではなく、「私が今まで日頃関わっておられるこの活動の中で考えた

ら、こんな支援があったらいいな」みたいな形でお話しいただけたらと思います。

所要時間は、今からちょうど3時まで、30分間を話合いの時間に充てさせていただきます。最後の30分間の5分前に、また私のほうからアナウンスさせていただきますので、その時間が来ましたら、グループの意見、いろいろ出ると思うんですけども、それを今度整理していく時間として使っていただこうと思います。それが終わりましたら、発表係の方からその出た意見というのを発表していただきたいと思います。

これからの進行ですが、各グループに区職員2名が参加して、1名が進行役、もう1名が記録を担当させていただきます。机のほうに記録用のシートを置いてありますので、その紙を使って記録をまとめていき、それに沿ってまとめたものを発表していただくという段取りになります。

それでは、今から始めていただきますが、まだはじめての方もおられると思いますので、討議が始まりましたら、初めに自己紹介をざっとしていただきまして、そこでまた発表者の方を1名決めていただけないかなと思っております。

オブザーバーの先生方、皆様方はどうぞ自由に移動していただいて、各グループの様子をご覧くださいと思います。ですので、椅子を持って移動していただければと思います。

では、職員の皆さん、指定されたグループのほうへ移動をお願いいたします。

ご協力ありがとうございます。これよりライブ配信を一旦中断し、意見交換に入りたいと思います。ご準備よろしいでしょうか。では、どうぞ開始してください。

(グループディスカッション)

【大藪区教育担当課長代理(司会)】 これより総合教育会議を再開いたします。これからライブ配信を再開いたしますので、よろしくお願いいたします。

それでは、各グループで意見交換をしていただきました内容を発表役の方から報告していただきます。

まず、Aグループさんから報告をお願いしたいと思います。発表に当たりまして、幾つかアイデアが出たと思うんですけども、この事業、こんなのがいいなという事業のテーマとその理由はという形でご報告をお願いいたします。

【松下委員】 ありがとうございます。Aグループでは、漢字検定の話が中心になりました。漢字検定、ちょっと2学年連続で受けられることに意義があるから、ちょっと1学年になるのは残念だなという思いが多かったんですけども、それとともに、じゃ、その

代わりとなるものとしてどんなものがあるのかなという話になったんですが、なかなかその検定って、みんなで一緒に頑張ろうぜと言って、合格したらやったーと成感を得られてみんなで喜べてという、こういう体験がやっぱりいいよねということで、でも、漢字検定でなくても何かそのような気持ちに子どもたちがなれるような取り組みがいいよねという話が出たりだとか、あとは、キャリア教育の一環として、地元を知るところをキーワードに、地元にもいろんなすてきな企業であったりとか取り組みであったりとか歴史文化があるので、何かそういうのを小学校のうちからどんどんどんどんやってあげたらいんじゃないかという意見が出たりしました。

以上です。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 松下委員、どうもありがとうございました。

続きまして、Bグループの報告をお願いしたいと思います。

【伊井議長】 私が報告させていただくことになりました。どうぞよろしくお願いします。

Bグループは中学校のことについて話し合わせていただいたんですけども、大きく分けて3点のことを話しました。

1つはサポートルーム、居場所ですね。居場所は空間的・物理的にはできたけれども、その先に何があるのか。やっぱりそこを考える時期に来ているのではないかというお話が出ました。もちろんそこに教員がいてくださるという選択肢と同時に、ボランティアの方であったりとか、あとは、今、国も配置されているスクールカウンセラーの方、あと、スクールソーシャルワーカーの方、そことの連携とどうつなげていくのか、そんな話が話題として出ました。

その1つの理由としては、不登校になった理由というのはやっぱり同じじゃない。その一人一人がやっぱり違う背景を持っているので、やはりそこら辺はきめ細かい対応が必要ではないかというようなお話になりました。具体的には、今、各学校が申請制なんですか、スクールカウンセラーであったりとか。申請というものではなくて、定期的にこれぐらいの日には来ているんだよみたいな、そういうような配置のシステムができていたらいいのではないかというような話が出ました。

もう1点は部活動に関してでした。部活動も、今やはり外部との連携であったりとかいろいろ出てくると同時に、あとは、お話を聞く限りは、合同チームであったりとか、あとは拠点校制度みたいのがあって、要するに部活動するときにも生徒たちがいろいろ移動し

なければいけないと。そのときのヘルメットの着用であったりとか、そんな安全性もやはり配慮していかなければいけないんじゃないかという話が出た結果、そこで急展開で公立大学の施設というのは使えないのかみたいな、そういうようなお話も出てきました。

というのは、ご存じのとおり杉本キャンパスはいろいろグラウンドがあったりとか、あとは、いろんな芝生のところがあったりみたいなところで、部活動が恐らく始まるのは、私も今日初めてこの話題が出て何時ぐらいから学生練習しているのかなと思ったんですけども、使っていない時間帯であったりとか、もしかしたら、今、部活動で大学生としてやっている人が将来的に指導者になる選択肢も出てくるのではないかみたいなことも含めて、何かこういったコラボレーションというか、そういったものが大学ともできればいいのではないかというお話でした。

3点目は、中学校卒業後のつながりがやっぱりここで途切れてしまうのではないかと。要するに、住吉区の中学校にいたときまでは区とのつながりがいろいろとあると。そこから高校に進学した段階でそのつながりが切れてしまって、どうなったんだろうと。高校、うまくいっているかどうかみたいなことも含めて、それまで小・中とつながってきたのがそこで断絶するのはもったいないのではないかというようなお話が出ました。

なので、切れ目のないというお話がちょうど出ましたけれども、切れ目のないそのつながりを高校以降もできていければいいのではないかということでした。ただ、そこでは、やはり制度的には守秘義務であったりとかそういったものの壁があるというような課題も当然話題がありました。

Bグループとしては以上ですが、よろしいですか。このような形でお願いいたします。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】      どうもありがとうございます。

【伊井議長】      両グループ、ありがとうございました。

それでは、今、両グループからいろいろ出てきたんですけども、いかがでしょう。代表して今ご報告いただいたんですけども、もう皆さん方の中で何か補足したいであったりとか、いや、こういったことももっとこう議論したほうがいいのではないかと、そういったようなことはございますでしょうか。

もちろん、あと、オブザーバーの方にもご発言いただいてもよろしいですよ。各グループに入っていた中で、小学校の立場、中学校の立場であったりとか、あとは、幼稚園はそれこそ小学校への接続の観点からもあるかと思いますが、オブザーバーの方々もぜひご発言いただければというふうにと思いますが、いかがでしょうか。

まずは委員の方々、何か補足的なものはございますでしょうか。何かありますか。よろしいですか。よろしいでしょうか。

それでは、何かオブザーバーの方々から一言ずつ、今回の話を聞いていただいた中でコメントですね。さらにこういったところを進めていってもらいたいであったりとか、何かそんな発言があればお願いと思います。

【墨江小学校校長】 小学校のグループに入れていただいて、不登校のお話も出ていたり、スマホとかタブレットがどうなんだというようなお話もあって、本当に恐らく今日ご参加の皆様の頃の小学校と今は本当に風景が変わっているというところの課題がいろいろお話しただけなのかなというふうに聞いていて思いました。

タブレットという話でいろいろお話が出たんですが、本当に教室に入ると、今は一人一人が端末に向かっているという時間も結構多いです。今日も6年生の授業を見に行ったんですが投稿すると、それぞれがつくったところにそれぞれが投稿して、そこで会話をするというようなことを授業としてやっていました。確かに端末の問題点も非常に多い。けれども、例えば不登校の子が別室で授業を受けることができるというようなよさがあったり、自分でいろんなことを調べて交流するというようなことができたりというよさもあるので、その辺も学校としては課題としながらもいい使い方をというようなところで、正しい使い方ができるようにというようなことをしているんですというお話をさせていただいたんです。

そのタブレットのICT支援員というのが来てくれているんですが、その辺の支援も必要なんじゃないかというお話もいただいて、本当にありがたいなと、そういうふうに考えていただければありがたいなと思いつつ聞いておりました。

あと、不登校については、各小学校、中学校さんもそうだと思うんですが、非常に難しい。一人一人が本当に課題というか、その原因となるものが違うので、難しい問題ではあります。そのあたりもご支援いただけると非常にありがたいところではあるかなというふうに感じています。

ただ、環境が整っても、人がいないというのが現状です。そこに例えば人を配置していただいても、その人とそこにいる子どもがマッチングするかということも、不登校にとっては非常に大きいというようなところもあって、考えないといけない課題は非常に多いというのが現場の現状です。

今日はこのような支援を、学校としてどのような支援ができるかというふうに話し合っ

ていただけるというのは、本当に学校としてはありがたいことだと感じています。ありがとうございました。

【我孫子南中学校校長】 私も同じく、伊藤先生と一緒に、区長はじめ各課の課長も出席していただきまして、住吉区の小・中学校、また、幼稚園がよりよい教育ができるようにという話合いの場を持っていたいただいていることにまず感謝いたします。ありがとうございます。

その中で、Bグループのほうでは、不登校生がやはり年々増加しているというところをどのように歯止めを利かす、またはどういうサポートができるかというようなお話をさせていただいて、私も少し意見をさせていただいたんですけども。先ほどありましたように、やはり居場所であるとか物がそろったとしても、最終的に人というものがどういうふうに動くかということも大事なかなと思っておりまして。

あと1点は、最近、学校内で起こっていることを昔は学校内で解決をしてきました。それが閉鎖的というふうに取り立てられてきたこともあるんですけども、今、教師ができる指導も含めてやはり限りがある、または、各ご家庭の教育に対する意識であるとか子育てに対する意識というものがやはりすごく違いがあるかなというふうに思っておりますので、各学校がやっている義務教育で実施すべきことは、各学校で教科として教員としてやるんですけども、そこに、もしここにありますこどもサポートネット事業というところは福祉が大分絡んでくるかなと思います。

だから、教育文化課の課長、課長代理のほうでこの場を取り仕切っていただいて、教育をどうしていくかなんですけども、ここに福祉がどう関わっていただけるかというのも今後大きくなっていくのかなというふうに思います。住吉区内にいるいろんな人材がボランティアや有償の中でどう学校に関わっていくかということも議論いただけたらと思います。

あと、続いて、防災・減災教育というのもすごく今後のためには大事になってくるかなというふうに思っておりますので、こういうことは学校現場の教員管理職も知った上で、みんなで教育をどう変えていくか、または、住吉区の地の利を生かすという部分もいろいろ考えていくことで、いろんな光が見えてくるのかなというふうに思っております。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【墨江幼稚園園長】 今日は小学校のグループに入らせていただきました。公立幼稚園、住吉区は住吉幼稚園と墨江幼稚園なんですけれども、だんだん公立幼稚園の子どもたちは

減っていつています。3歳児無償化になってからやっぱりどんどん子どもは減っているんですけれども。

うちの園でも幼小交流ということをしごく、今一緒にいてる伊藤先生がお声かけいただいて、幼小交流を今年は6学年全部3クラスずつ、だから18回ぐらい幼小交流するんですけども、先日、4年生の子どもたちがうちの幼稚園に来て、泥んこ遊びを1組、2組、3組とさせていただいたり、うちの幼稚園の遊戯室で2年生の子どもたちが一緒に手作りおもちゃを作ったりというのをさせていただきました。新しい試みですけれども、うちの職員が帰るときに、墨江小学校の4年生の子どもたちがうちの園庭を見て、ああ、楽しかったな、めちゃくちゃ楽しかったなと言って帰っている姿はとてもうれしかったと言っていたんですけれども。

先ほどタブレットやスマホの話が出ていましたけれども、幼稚園教育、就学前教育というのは実体験から学びをといるところ辺で、小学校で例えばタブレットを使っても、あ、幼稚園で見た、上手やなとか、実体験があつてからのタブレットかなと私もちょっと今話を聞かせていただいて思いました。

幼稚園の役割ということをいま一度考えながら、住吉区がしてくださっている事業も、今日私もちょっとまだ勉強不足で分からないこともあつたんですけれども、保護者にも知らせていきながら、子どもたちのために頑張っていきたいなと思っております。

今日はありがとうございました。

【伊井議長】 オブザーバーの先生方、ありがとうございました。非常に貴重なご意見だったかと思ひます。

本日のこのディスカッションを締めくくるに当たつて、今回いろいろとお話をいただきました。最後、確かにそのとおりだなと思ひるのは、実体験に学ぶというのは、決して幼稚園児だけではなく、小学校、中学校だけではなく、まさにここにいる我々も、やはり実体験から何か今回の意図としてはやっぱり意見を出してきているわけですよね。なので、それをどういふふうになんな意見としてここで表現していくかであつたりとか、そんなことをぜひこれからも積極的にここではさせていただきたいと思ひます。

その中でも、今回、非常に小学校も中学校もグループもそうだったと思ひますけれども、連続性とやっぱりつながりというのは非常にやはり何回も出てきたキーワードなのかなというふうに思ひます。その連続性とつながりを支えていくのはやはり地域であり人であり、それを進めていくのは恐らく決まりとか空間、場所なんですよね。なので、ぜひちょっと

そこら辺も含めて、第2回以降もより具体的な意見であったりとか、我々から何かこういうアイデアがあるんだけどもというのを引き続きここでは述べさせていただければなというふうに思います。本日はどうもありがとうございました。

それでは、委員の皆様、本当に今日は活発かつ闊達な意見交換をありがとうございました。

では、ここで一応予定していた議事は全てが終了しましたので、事務局のほうに進行をお戻ししたいと思います。よろしくお願いいたします。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 議長を務めていただきました伊井委員、どうもありがとうございました。

それでは、最後に、住吉区担当教育次長の橘区長より閉会の挨拶をさせていただきます。

【橘区担当教育次長】 本日は、委員の皆様、そして、オブザーバーの校長先生、園長先生から貴重なご意見を頂戴し、本当にありがとうございました。また、進行役を務めていただきました伊井議長、どうもありがとうございました。

今日は、Aグループ、Bグループですか、小学校、中学校の部門でそれぞれ当初設定させていただきました今の事情等に基づいてグループディスカッションを行っていただいたわけなんですけれども、本当に、まずは、Aグループ、漢字検定の件ですけれども、年間予算が400万円程度、1校当たり30万円ぐらいでしょうかね。それが冒頭説明にもありましたように検定料が700円になったということで、これまで2学年実施していたところが1学年でしか予算上できなくなったということです。

今年度においては、年度途中でそういった事情が分かったということもあって、何とかその足らずまいのほうについては、区の予算のほうで恐らく何らかの形で不用額が出てまいりますので、それで対応してまいりたいと考えておりますが、来年度に向けては、やはり予算を組んでいく中で、明らかに2学年の予算を超えるような形での予算計上というのは、この予算の中では非常にやっぱり厳しい状況になります。

そのため、この間いろいろ小学校の校長先生のご意見も賜りながら進めてきたわけなんですけれども、今日改めて、委員の皆様のほうから、やはり連続して、最初の学年で仮に不合格であったとしても次の学年で合格できれば、もう何よりみんなでその達成感が味わえるといいますか、共有できるというご意見も頂戴した次第でございます。予算的には非常に厳しく、区長としても大変心苦しいところではございますけれども、一度またこの点については、小学校の校長先生方といろいろとご意見をいただきながら、しっかりと検討

していきたいというふうに思っています。

それからまた、小学生の企業等の体験学習のお話もあったかと思うんですけれども、確かに僕自身も聞いている話では、中学生の場合は、その探求学習の中でいろんなそういう企業等への視察であったりとか、まさに体験事業として取り扱っているところがあるんですけれども、小学生のほうではちょっとなかったのかなというふうにちょっと思ったりもしています。この点については、各校長先生のお考えもいろいろ聞きながら、一度しっかりと区役所内で検討していきたいというふうに思っています。

次に、Bグループのほうの中学生の部門ですけれども、こちらのほうについては、予算的に年間約320万円、1校当たり40万円で、お話もございましたように、これまで不登校支援というような形で居場所の整備ということで、まずはそういう調度品的なものから環境整備というのは今年度で終了できるのかなというふうに思っています。

ただ、ご意見にもございましたように、そういう整備ができたものの、スタッフの、対応支援いただけるそういう方々の充足度はどうなのかといった点については、やはりしっかり体制ができていない学校ないしはやっぱちょっとなかなか毎日とはいかんというような状況とかも各校長先生からも聞いております。実際僕も今の整備状況、8校全部回らせていただいて確認もしてきた状況でもございます。一定、今年度いろいろまたご要望等も受けながら整備ができるのかなというふうには思っています。

一方で、教育委員会のほうからも、やはりそういった面、非常に取り組みとしては重要ということで、住吉区のほうにおいても今年度2校ですか、そうして環境整備の予算であったり、あるいはそのスタッフも派遣いただけるような手当も頂いているところもあります。言うたら、こういったところ辺を全校に広げていただければ非常にいいのになと思うんですが、教育委員会のほうでの予算がやはり限られているということもあります。そういった点では、引き続き区役所から教育委員会のほうへもいろいろ要望してまいりたいというふうに考えてございます。

ほかにもいろいろございましたけれども、最後に伊井議長がおっしゃいましたように、やはり連続性のつながりといった観点で引き続きまた皆様方からご意見を賜りたいというふうに思いますし、今日いただきましたご意見、しっかりと区役所内でも引き続き検討しつつ、取り上げられるものについてはしっかりと施策・事業に反映するなど、今後も着実に施策・事業を進めていきたいと考えてございますので、引き続き、委員の皆様方ないしはオブザーバーの校長先生、園長先生のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本日は長時間どうもありがとうございました。お世話になりました。

【大藪区教育担当課長代理（司会）】 それでは、委員の皆様におかれましては、お忙しい中、また、暑さ厳しい中、ご出席いただきましてありがとうございました。

本年度の総合教育会議につきましては、第2回を12月8日火曜日、第3回を3月19日金曜日に予定しております。それぞれの日程が近づいてまいりましたら委員の皆様方にご連絡させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

これもちまして本日の会議を終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。

—— 了 ——